

【特別対談】 チェルシーフラワーショー凱旋記念 「なぜ世界は日本の庭に惹かれるのか」

ISHIHARA KAZUYUKI × KANDA MYOJIN

英国王立園芸協会主催の「チェルシーフラワーショー」にて数々のメダルを獲得し、世界から“緑の魔術師”と称される庭園デザイナー 石原和幸氏。そして江戸総鎮守として数々の伝統を紡ぎつつ、現代における神社文化の発信を牽引する神田明神 清水祥彦宮司。異なるアプローチで日本文化の本質を体現してきた両氏をお迎えし、世界を魅了する美意識の根源と、これからの都市空間・地域創生における緑の可能性を紐解きます。

■ 本対談の主要テーマ

- 国境を越える美意識の本質：世界の要人や観客が日本の庭園に直感した「癒やし」と「自然観」
- 都市における「鎮守の森」の再生：無機質な都市空間へ、伝統的な信仰と緑がもたらす新たな価値
- 文化の保存からビジネス・地域創生への活用へ：次世代に繋げるべき日本のブランド価値の創出

■ 登壇者プロフィール

- 石原 和幸氏（庭園デザイナー / 石原和幸デザイン研究所代表）
長崎県生まれ。チェルシーフラワーショーにおいて受賞獲得を重ね、エリザベス女王からも高い評価を受ける。独自の自然観と空間構成力は国内外の都市開発やブランディングで注目を集めている。
- 清水 祥彦氏（神田明神 宮司）
江戸総鎮守・神田明神の宮司として、伝統と革新をキーワードにして神社を文化発信・交流の場としてひらく活動を積極的に推進している。

吉見 俊哉氏（社会学者 / 東京大学名誉教授・国学院大学教授）※モデレーター

都市論・文化研究・メディア論を専門とし、日本文化を現代社会へ接続する研究と実践を行う。文化資源を都市や地域の価値へ転換する取り組みにも携わっている。令和8年より一般社団法人千代田中央文化交流推進機構の代表理事に就任。

【開催概要】

日時：2026年6月14日（日） 13:30～16:00（開場受付 13:15）

会場：神田明神 文化交流館 EDOCCO 4階 「令和の間」（東京都千代田区外神田 2-16-2）

【主催・お問い合わせ】

一般社団法人千代田中央文化交流推進機構

E-mail: info@jp-culture.or.jp | Tel: 03-6206-0131

協力：神田神社（神田明神） / 株式会社石原和幸デザイン研究所